

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善計画
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	0	0	指定基準は一人当たり約4㎡。行動障害や車椅子の子どもがいるので、12㎡/人ある。	
	②	職員の配置数は適切であるか	5	4	0	0	職員の数が多すぎて子どもに良くない影響があると思われることはあっても、少ないということはない	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	0	トイレは2か所とも車椅子のまま入れる。スタッフの腰の負担軽減のため、ロボットスーツも導入している。	
業務改善	④	業務(活動・行事・施設運営・事務・環境整備など)の改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	2	0	1	職員のうち半分はアルバイトさんで、話し合いの時間を常勤職員と同様には持てないので、「広く」というのは難しい。	子どもについての話し合いは行っている。しかし全ての業務について反省・改善については話し合っていない。話し合いの場が設定されていなくても、気が付いた時に適宜、声をあげることを確認した。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	0	毎年9月の保護者会で実施→役員会・理事会などで議論→保護者会で公表→都・区に提出→ホームページで公表	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	0	0	0	2017年度に行い、記録用紙の書式の改善や、業務マニュアルの見直し等に取り組んだ。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	0	内部研修は、年に10回行い、常勤職員は個別に研修計画を作成し、資質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	0		個別支援計画を話し合う際に、最近行ったアセスメントを確認しながら行うことにした。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	1	1	「適応行動の状況を図れる標準化されたアセスメントツール」と現在使っているアセスメントとの違いについての知識が不足していた。	適応行動を図れる標準化されたアセスメントツールについての学習会を行い、KIDSでのアセスメントを全職員が取り組み、基本的な知識を身に付けた。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0	0	夕食作りや「歌の時間」、「深川公園での戸外遊び」、プール活動などを行っていて、内容は子どもに合わせて計画し、当日の天気や子どもの体調を考慮し、必ず活動前のミーティングで相談し、臨機応変に実施している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	1	0	「はい」以外を選んだ職員は、「あえて固定化している」「どこまでがきめ細やか」等で回答に悩んだよう。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、内容や取り組みをきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	1	0		
適切な支援の提供		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	改善計画
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2	0	0	個別・集団と分けた記載をできていないが、子どもの状況に応じて、適宜組み合わせ活動し、実施している。計画段階では個別だったが、予想外に集団に広がって充満することもある。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	0	リーダー役、フォロー役、個別対応役と、少人数なので役割分担が固定されやすく、打ち合わせで確認しないことが多い。	色々な役割を試みるのが育成にも繋がるので、確認していきたい。
	⑯	行った支援の振り返りを行い、気付いた点や子どもに関する必要な引き継ぎ等をスタッフ間で共有しているか	9	0	0	0	①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0	できるだけ正しく記録し、支援の改善に繋がっているが、「検証」という言葉に引っかかって「どちらとも…」を選んだよう。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	0	子ども一人当たり、年2回ケース会議を定期的に行っているが、それ以外に必要があれば計画を見直している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	1	1	0	①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供を、子ども達の興味関心に合わせて活動。創作が少なめだが、好きな子どもは自由時間にやっているの、現	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	0		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	2	0	0	各学校から年間予定(保護者を通じてもあるが)を入手。学校(城東・墨東)が開催する放課後等デイサービス連絡会に出席。必要な時に個別支援会議。	
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアの子どもが今はいないので答えられない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	説明	理由
関係機関や保護者との連携	②4 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	0	0		
	②5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	3	所長が児童発達支援センター長と活動し、合わせて連携も行っている。COCOやTOSCAの研修も受けている	
	②6 地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有したりする機会があるか	8	1	0	0	焼いも入浴、水遊びをフイト子屋さんと交流している。また、公園や公共のプール等地域で活動しているので、場を共有している	
	②7 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	4	所長が児童部会や地域生活支援部会、児童通所連絡会に参加している。	
	②8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	3	0	0	職員は日常話しているが、保護者と共通理解が取れているのかの確信はなかった。しかし保護者アンケートでは共通理解が取れているという回答を得た。	
	②9 保護者の対応力の向上を図る観点から、課題解決のための取り組み(学習会の企画や案内、サービスの紹介、緊急一時保護など)を行っているか。	9	0	0	0	日頃から、お迎えに来た保護者と短い時間でも話せることがとても良い。保護者会でも保護者同士の話しを聞いたり、性教育の学習会に参加してもらって悩みを話し合ったり、進路や障害者施策の説明をしたりする取り組みをしている。	
保護者への説明責任等	③0 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	1		
	③1 保護者からの子育ての大変さや悩み等を聞いた際、傾聴や共感、意見交換を行う、各事業担当職員につなぐなど、適切なサポートにつなぐ取り組みを行っているか	8	0	0	1		
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	1		
	③3 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	1	苦情対策係は所長としている。外部の係として第三者委員をお願いしている。そのことを重要事項説明会に記入し、説明している。	
保護者への説明責任等	③4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	0		
	③5 個人情報に十分注意しているか	7	2	0	0		今後も十分気を付ける。
	③6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	0	子どもには写真カードやマカトサイン等利用している。保護者には、紙面(配布物・連絡帳)だけでなくメールや電話などで必要に応じて個別対応している。	子どもの理解度や障害特性に応じて、もう少し工夫していきたい。
	③7 事業所や障害理解の増進を図るため、地域住民に向けた行事を行う、ボランティアや実習生を広く受け入れる等、地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	0	0		
	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	0		
非常時等の対応	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	0		
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	0		
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	0		
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	1	医師の指示書ではなく、保護者からの依頼で(信頼関係があるので)対応している。	
	④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	0		

(冬木)

13名回答

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

職員は見ずに保護者理事が集計するので、率直にご意見をお寄せください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	0	玄関に新しく出来た小部屋で スリッパで居るのでとてもありがたいです (はい)
	② 職員の配置数は適切であるか	12	1	0	0	
	③ 障害を持つ子どもへの職員の知識や対応は適切であるか	13	0	0	0	
	④ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	0	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が理解された個別支援計画が作成されているか	13	0	0	0	
	⑥ 活動プログラムは、子どもの興味関心や放課後（長期休暇）に相応しい内容になるよう工夫されているか	13	0	0	0	
	⑦ 地域の中で活動したり、障害のない子どもと一緒に活動や場の共有をしたりする機会があるか	5	7	0	1	なかなか難しいと思う(どうもいえない) もっと交流させたい(どうもいえない)
保護者 への 説明等	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	
	⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	
	⑩ 面談では一方的な説明だけでなく、保護者の願いへの傾聴や十分なやりとりがされているか	13	0	0	0	
	⑪ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	0	0	
	⑫ 子どもや保護者からの苦情について、窓口を周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0	1	
	⑬ 保護者に対して、情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0	
	⑭ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	1	
非常時 等の 対応	⑮ 個人情報に十分注意しているか	12	0	0	1	
	⑯ 緊急時対応マニュアル等のマニュアルを策定し、保護者に費用な情報が周知・説明されているか	12	1	0	0	
	⑰ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	0	
満足 度	⑱ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	1	
	⑲ 事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	

その他、何かクラブに伝えたいこと